

高品質、安定多収で農作業をサポートします。

育苗期処理、生育期の葉面散布、灌水チューブ等による処理で、様々な作物の安定多収に貢献。
 水稻、畑作、花きの圃場においてもアミノ酸パワーを発揮します。

生育期処理での効果

ほうれんそう



無処理よりも、茎葉部重が重く、
 高品質なほうれんそうに生育しました。

試験場所：福岡県久留米市 試験期間：2015年12月～2016年3月 試験方法：M441号(1,000倍)希釈液を2015年12月5日に、M441号(500倍)希釈液を2016年2月17日に、それぞれ10aあたり150ℓ散布した。

生育期処理での効果(灌水)

トルコギキョウ

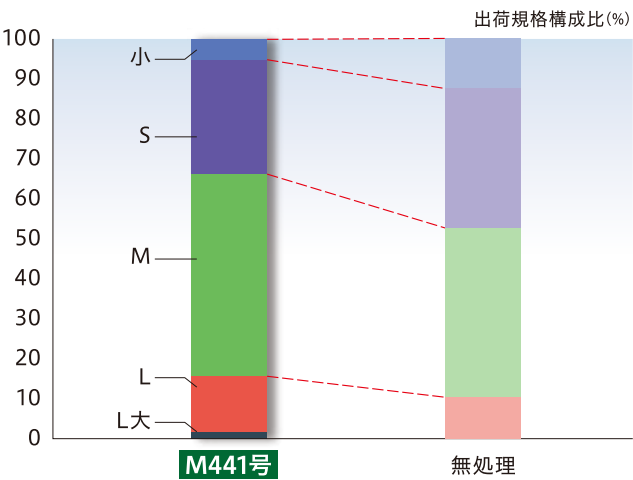


対照液肥と比べて草丈が高く、花数が増えた
 ことから、秀品率の向上が期待できます。

試験場所：熊本県菊池市 試験期間：2015年9月～2016年2月 試験方法：M862号(800倍)希釈液を9月16日・30日、10月29日の計3回、株元に灌注した。対照液肥IIはM862号と施用窒素量を合わせ同様に施用した。

育苗期処理での効果

たまねぎ

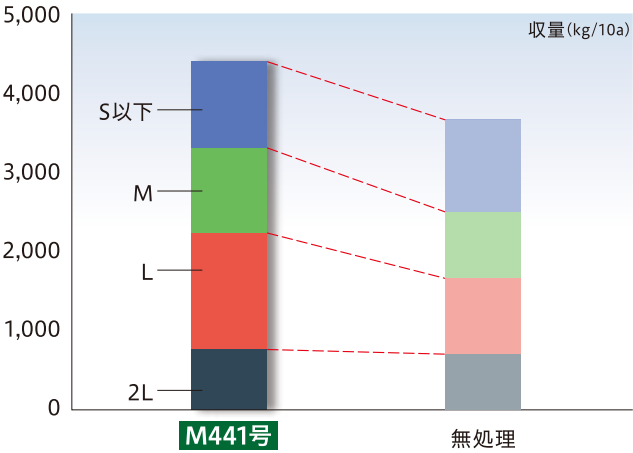


無処理と比べてM玉以上の割合が多くなりました。

試験場所：北海道岩見沢市 試験期間：2014年4月～9月 試験方法：M441号(500倍)希釈液をジョウロで育苗トレー1枚あたり1,000ml施用し、無処理と比較した。

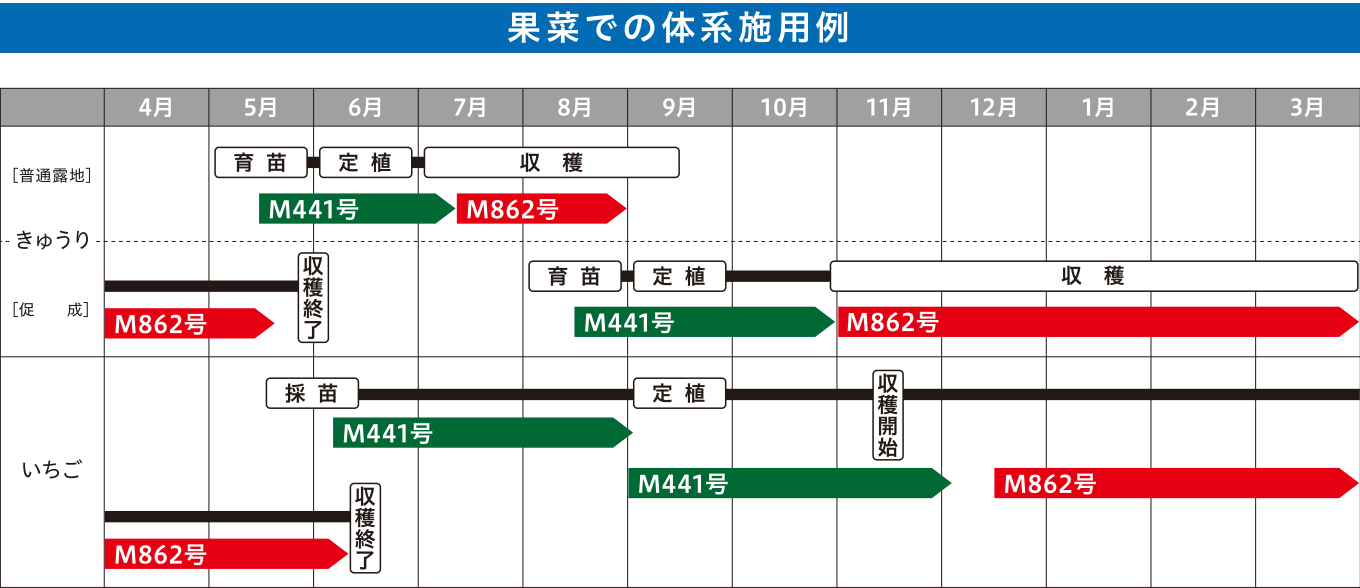
生育期処理での効果(葉面散布)

ばれいしょ



M441号を葉面散布することで、無処理と比べて
 増収効果が認められM品以上が増加しました。

試験場所：熊本県菊池市 試験期間：2015年3月～6月 試験方法：M441号(300倍)希釈液を出芽後3週間に2回^{※1}、開花期に2回散布^{※2}の計4回散布し、無処理と比較した。 ※1：4月27日、5月1日 ※2：5月13日・17日



果菜、葉菜での施用時期例

作物	施用時期			施用目的
果菜類	M441号	きゅうり、トマト、なす、ピーマン、いちごなどのポット仮植時		定植後の根圏拡大
きゅうり			M862号 収穫開始期	M862号 最盛期 成り疲れ対策と作柄の長期安定
トマト	M441号 定植時	M441号 定植後15日	M862号 着色開始期	
なす			M862号 収穫開始期	
ピーマン			M862号 着果節位8節時期	
いちご	M441号	育苗時・ポット移植時に施用		健苗育成
	M441号	定植時・灌水施用		活着促進、初期の根圏拡大による第二花房の成り疲れ対策
	M862号	定植後15日／着色開始期以降		第二花房以降の作柄安定(成り疲れ対策)
葉菜	大葉	M441号 定植時	M862号 収穫(摘葉)開始時およびそれ以降	根圏活性による品質の安定
菜	にら	M441号 養生期	M862号 捨刈り直後と収穫直後に都度	株の充実・収穫・品質の安定

生育最盛期にはスミライム、磷安液肥、PK液肥などとの計画的な交互施用をおすすめします。

施用方法例

作物	施用時期	施用量	希釈倍数	回数	施用方法
野菜類	育苗時	0.1～0.5g／ポット	300～1,000倍	2～4回	希釈液を育苗上部から灌注
	定植時	0.1～0.5g／株		1回	植穴およびその周辺に希釈液を施用
	追肥時	10～20kg／10a/回		複数回に分けて	希釈液を畝土壌の表面に散布または灌水チューブなどで注水
水 稲	弁当肥	約3g／育苗箱	300倍以上	1回	移植当日～1週間前、希釈液をジョウロなどで灌注

【保管方法】直射日光や雨露をさけ、冷暗所で幼児の手の届かなくところに食品と区別し、保管してください。

警告

使用時にはラベルをよく読み理解してから使用してください。石灰硫黄合剤と混合すると有毒ガスが発生するおそれがあり危険ですから混用は行わないでください。酸性の強い液肥です。誤飲したり濃い液が眼や皮膚に付着すると炎症を起こし危険です。皮膚等に付いたら、必ず多量の水で洗い流してください。金属容器は本液で徐々に腐蝕される危険がありますので注意してください。

●本資料では好事例を紹介しております。詳しい施肥設計については、農業技術指導機関等または住友肥料取扱店にご相談ください。

販売店



〒104-8260 東京都中央区新川1-27番1号
 お客様相談室 ☎ 0570-058-669
 農業支援サイト 農力 http://www.i-nouryoku.com
 農林水産省登録 生第93805号

いい根。
 のびる根。
 おどろく根。

メチオニン・グルタミン酸入り
 水稻、野菜、果樹の根や地上部の生育促進に



♻️は住友化学の登録商標です。

ダブルアミノ酸のパワーで 根や地上部を活性化し、 安定多収に貢献。

水稻、野菜、果樹、花きなど作物のすこやかな生育のために。

作物の生育を活性化することで知られる

アミノ酸「メチオニン」「グルタミン酸」を添加した、

画期的な**液肥「M号」**の登場です。

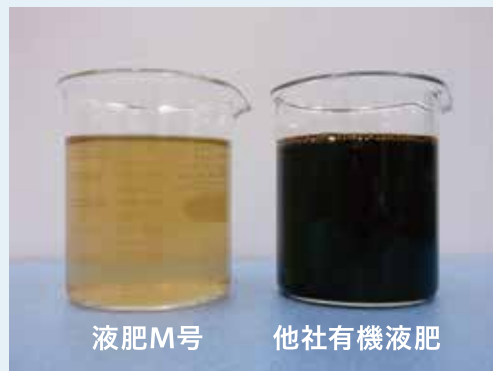
とりわけ「メチオニン」は、植物根部の旺盛な生長を

促進すると言われています。

低温・日照不足といった環境下でも生育促進が期待でき、

有機肥料にありがちな不純物やにごりがほとんどないので、

灌水時に目詰まりしにくく、使いやすい液肥です。



M号はサラサラで目詰まりしにくい液体です



農林水産省登録 生第93805号

農林水産省登録 生第93804号

銘 柄	特 長	成 分	容 量
初期施用タイプ M441号	生育初期の施用で根を最大限に活性化	N・P・K＝4-4-1 アミノ酸(メチオニン2%、グルタミン酸4%)※	20kg
後期施用タイプ M862号	追肥時期の施用で地上部と根の活性を維持・向上	N・P・K＝8-6-2 アミノ酸(メチオニン1.2%、グルタミン酸4%)※	20kg

※アミノ酸は製造時の添加量です。

住友液肥M号 特長

- メチオニン、グルタミン酸を添加した「ダブルアミノ酸パワー」
- 根部活性化で、品質向上や樹勢回復に作用
- 低温・日照不足などでも生育促進、安定多収
- 灌水時につまりにくく、ハウス栽培にも好適

作物の根を活性化します。

ほうれんそう



試験場所:埼玉県、撮影:2014年5月24日
試験方法:M441号(300倍)希釈液を間引き直後、10日後、20日後の計3回、株元に灌注した。対照液肥AはM441号と施用窒素量を合わせ同様に株元灌注した。

ねぎ



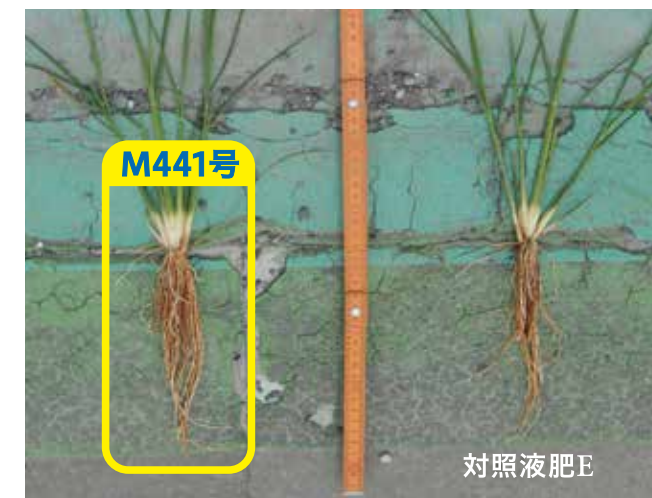
試験場所:熊本県菊池市、撮影:2013年12月19日
試験方法:M862号(1,000倍)希釈液を鉢上げ時と22日後に株元に灌注した。対照液肥DはM862号と施用窒素量を合わせ同様に株元灌注した。

いちご



試験場所:兵庫県加西市、撮影:2015年12月1日
試験方法:M441号(500倍)、対照液肥B(500倍)、対照液肥C(500倍)の各希釈液を定植時に株元に灌注した。

水稻



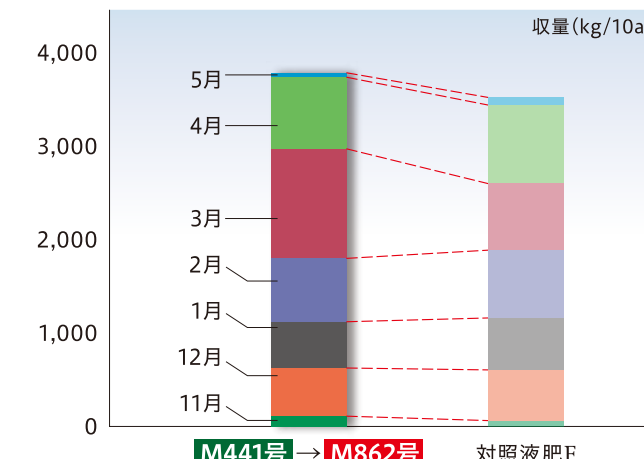
試験場所:埼玉県、撮影:2015年6月11日
試験方法:M441号(300倍)希釈液を定植3日前に育苗箱に施用した。対照液肥EはM441号と施用窒素量を合わせ同様に施用した。

作物の収量アップをもたらします。

生育初期にM441号により根部の生育を促進し、生育後期にはM862号によって地上部の生育を促すという体系処理を実践することで、さらなる生育促進や増収効果が期待できます。

体系処理による効果

いちご

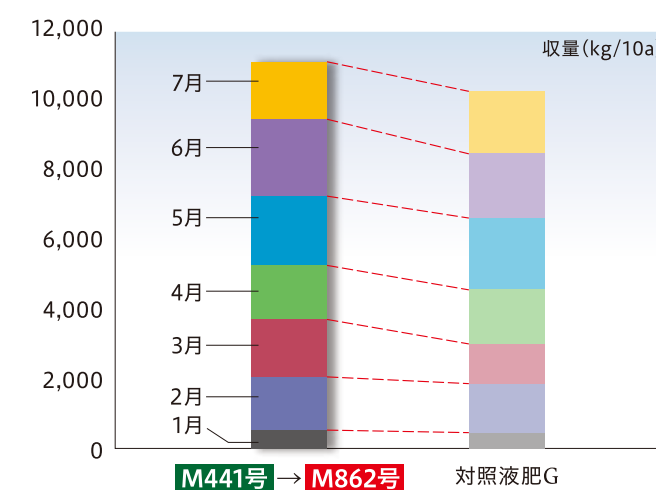


M441号→M862号の体系処理では、対照液肥よりも増収傾向が認められました。

試験場所:熊本県菊池市 試験期間:2014年9月～2015年5月 試験方法:「M441号→M862号」体系処理区は、M441号(500倍)希釈液を移植50日後までに3回、M862号(1,000倍)希釈液を定植51日後から12回施用した。対照液肥FはM441号、M862号と施用窒素量を合わせ同様に施用した。

体系処理による効果

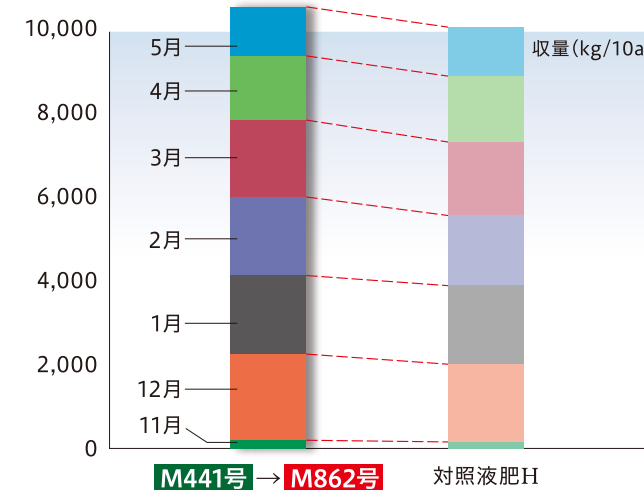
きゅうり



M441号→M862号の体系処理では、対照液肥よりも増収傾向が認められました。

試験場所:熊本県菊池市 試験期間:2014年12月～2015年7月 試験方法:「M441号→M862号」体系処理区は、M441号(500倍)希釈液を移植50日後までに3回、M862号(1,000倍)希釈液を定植51日後から15日毎に施用した。対照液肥GはM441号、M862号と施用窒素量を合わせ同様に施用した。

ミニトマト



M441号→M862号の体系処理では、対照液肥よりも増収傾向が認められました。

試験場所:熊本県菊池市 試験期間:2014年9月～2015年5月 試験方法:「M441号→M862号」体系処理区は、M441号(500倍)希釈液を移植50日後までに3回、M862号(1,000倍)希釈液を定植51日後から15日毎に施用した。対照液肥HはM441号、M862号と施用窒素量を合わせ同様に施用した。